



逆上がり達成率“年々低下” 年度内の継続的な指導を！

【鉄棒運動実態調査を春に実施をした目的】

「児童の実態を把握し年度内により効果的な指導ができるようにするため」という理由から、令和5年度からは春に鉄棒運動実態調査を行っています。

1. 【足抜き回り 調査結果】

⇒秋に実施の結果

⇒春に実施の結果

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
2年生	81.5%	84.2%	84.6%	81.1%	80.6%	77.2%
1年生	84.3%	81.2%	79.5%	76.6%	72.7%	67.8%

2. 【逆上がり 調査結果】

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
6年生	73.9%	70.8%	68.0%	66.7%	63.7%	61.0%
5年生	68.8%	64.7%	64.6%	63.9%	59.8%	57.9%
4年生	63.3%	62.8%	59.8%	57.3%	55.9%	50.9%
3年生	59.4%	54.0%	55.3%	52.8%	51.7%	47.2%

3. 【後方支持回転 調査結果】

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
6年生	25.1%	22.8%	23.1%	22.9%	19.3%	17.7%
5年生	22.3%	21.1%	21.5%	20.1%	17.1%	16.9%
4年生	21.4%	18.5%	17.3%	16.6%	15.6%	14.2%
3年生	16.6%	13.4%	14.8%	13.8%	13.7%	12.0%

【考察】昨年度の結果を受けて、1年間、各校鉄棒だけではなく、いろいろな単元で基礎感覚を養う指導に取り組んできました。赤枠で示したように、同じ調査集団の年度ごとの達成率に注目すると、学年が上がる毎に達成率が高くなっていることが分かります。このことから時間をかけて指導することで**子供たちの力が確実に伸びている**ことが考えられます。

しかし、逆上がりの達成率は令和元年度よりも**10%以上低下**しました。また、1年生の足抜き回りは**16.5%低下**し、達成率は67.8%に落ち込んでいます。子供たちのできるを増やすためにも、**年度内の継続的な指導**が大変重要です。

逆上がりや後方支持回転ができることは、体を支持する力や回転する感覚を養い、他の器械運動にもつながります。限られた時間の中でも効果的な指導ができるよう、裏面では、鉄棒運動の技能向上につながる運動や手立てを紹介します。ぜひ各校で鉄棒指導の参考にしてみてください。